

Q

乳幼児がテレビやビデオを長時間見ると何か問題があるのでしょうか？

A

新しいタイプの言葉遅れの幼児が増えていきます。生後6ヶ月くらいから2歳くらいまで、長時間にわたってテレビやビデオを見せられ続けた事が原因の一つと言われています。

子どもが言葉を覚えていくには段階があります。生後1〜2ヶ月で「アー」とか「ウー」と聞こえる喃語（なんご）が自然に出てきます。6ヶ月になると「パーパー」、「ダッダッダ」、「ブーブー」などの喃語をある程度意味を持って使うようになり、母親の音声を真似しようとしてきます。覚えた音声を目的にあわせて使おうとするようになります。さらに言葉を覚えるためには、この時期に母親との言葉以外のコミュニケーションを持つことが大事になってきます。表情、視線、目の動き、音声、指差し、身振りなどを使ったコミュニケーションです。子どもの側から、母親におもちゃを見せたり、指で指したり、物のやり取りを楽しんだりする事も、言葉が育つ前の段階として大事なことです。子ども、物、母親の三者の関係が成り立っています。これに対して、テレビ、ビデオあるいは

スマホからの一方通行の言葉の働きかけは、この時期の子どもにも何も役に立ちません。せっかく1歳くらいで覚え始めた言葉もテレビによって奪われてしまい、コミュニケーションの能力もなくなってしまいう子もいます。日本小児科医学会は、子どもの心を育てるもつとも大切な時期である1〜2歳未満の子どもを持つ保護者に次のような提言をしています。

- ① 2歳までは、テレビ、ビデオの視聴を控えましょう。
- ② 授乳中、食事時のテレビ・ビデオの視聴はやめましょう。
- ③ すべてのメディアへ接触する総時間を制限することが重要です。1日2時間までを目安と考えます。
- ④ 子ども部屋にはテレビ、ビデオ、パーソナルコンピュータを置かないようにしましょう。
- ⑤ 保護者と子どもでメディアを上手に利用するルールをつくりましょう。

雑記

スマホの子育てアプリを使用する際は、それに任せきりにせず、一緒に会話しながら使うようにしたらよいと思います。

